

履修モデル

政策コース	94
戦略コース	95
心理コース	96
社会コース	97

履修モデル 政策コース 政策イノベーション学科に所属するAさんの場合

将来は経済系の官庁に勤め、知識立国という新しい視点から新産業の育成に携わりたいと考えている。

〈政策レベルにおけるイノベーション・システムについて学ぶ〉

日本が継続的に発展するためには、イノベーションをいかに生み出していくかが重要となる。そして、その鍵を握っているのが、政策レベルでのイノベーション・システムの確立である。政策コースでは、国のイノベーション政策の方向性、科学技術の動向、イノベーション遂行のための資金問題、国際的な技術移転などに関する知識を深めるとともに、企業レベルでのイノベーションの遂行、社会レベルでのイノベーションの普及についてもしっかり学ぶ。

	基礎科目	専門科目	
1年	必修科目 イノベーション概論 [a] イノベーション概論 [b] 情報リテラシー データ分析入門 選択 A 経済学 国際関係学 政策学 選択 C 生命の科学	しっかりと基礎を培う 「イノベーション概論 [a][b]」などの必修科目に加え、「経済学」、「国際関係学」、「政策学」などの基礎を学ぶ。	外国語科目 必修英語 English I : Skills for Learning [a]・[b] English I : Social Interaction [a]・[b] English I : Academic Interaction [a]・[b] English I : Reading and Writing [a]・[b] 一般共通科目 コンピュータ・リテラシー A 1・A 2 テニス 総合教養科目 教養演習
	選択 A 行政学 社会学 選択 B 社会調査法	2年次からコースを選択 政策 イノベーション政策論 科学技術論 金融システム論 経済政策 戦略 イノベーション戦略論 社会 イノベーション社会学 現代国際社会学 ゼミナール 基礎ゼミナール (政策) 基礎ゼミナール (戦略)	外国語科目 必修英語 English II : Public Speaking English II : Presentation and Discussion English II : Academic Reading and Writing [a]・[b] English II : Business Reading and Writing [a]・[b] 学部共通科目 English for International Communication 仏語選択 (初級) a・b 総合教養科目 生命科学の世界 a・b
2年	政策イノベーションを中心に、より深い認識を 専門科目はイノベーション政策やそれを支える金融システムに関する授業科目を中心に履修。また、企業のイノベーションやイノベーションと個人・社会の関わり、さらには社会の変容などについても認識を深める。	政策 イノベーション経済論 金融イノベーション論 I・II 戦略 現代企業論 心理 イノベーション心理論 社会 環境社会論 I・II ゼミナール ゼミナール I	総合教養科目 言語コミュニケーション演習 学部共通科目 English for Academic Settings 仏語選択 (中級) a・b
		政策 知的財産法 戦略 ベンチャービジネス論 心理 メディア心理学 ゼミナール ゼミナール II 卒業研究 卒業研究	総合教養科目 地域空間論 IV a・b 卒業研究例 「イノベーション・システムと産業創造」
3年			
4年			

関連分野の教養の幅を広げる

履修モデル

めざす将来

政策、企業戦略、社会へとイノベーションの循環を達成し、それを基盤に新しい産業の創造を企画・立案できる能力を備えた人材。

さらに広がるキャリアプラン
 国家公務員、地方公務員、シンクタンク、NGO・NPO職員など

履修モデル 戦略コース 政策イノベーション学科に所属するBさんの場合

競争企業から一歩先行く新製品の開発プロジェクトリーダーを目指す。

〈企業を進化させる戦略的イノベーションにアプローチ〉

現代企業が成長し、事業を拡大していくためには、つねに競争企業から一歩先を行く新製品の開発が必要となる。もちろん、そうした新製品は技術的なものばかりではなく、マーケットニーズに対応した商品やサービスも含まれる。戦略コースでは、企業の持つ技術やブランドといった経営資源と顧客ニーズについて正しく把握し、企業を進化させるために必要な戦略的イノベーションの基本的な考え方から実践的な方法論までを学ぶ。

	基礎科目	専門科目	
1年	<p>必修科目 イノベーション概論 [a] イノベーション概論 [b] 情報リテラシー データ分析入門</p> <p>選択 A 経済学 経営学 社会心理学</p> <p>選択 C 地域と文化</p>		<p>■ 外国語科目 必修英語 English I : Skills for Learning [a]・[b] English I : Social Interaction [a]・[b] English I : Academic Interaction [a]・[b] English I : Reading and Writing [a]・[b]</p> <p>■ 総合教養科目 自然科学 I a・b 心身論</p> <p>■ 一般共通科目 エアロビクス</p>
2年	<p>選択 B 市場調査法</p> <p>イノベーション戦略関連科目を重点的に学習 専門科目では企業の戦略関連科目を中心に学習し、理論から実践的手法までを学ぶ。また、国の政策や社会への普及も理解するとともに、プロジェクト運営という視点から「組織心理学」も履修する。</p>	<p>戦略 イノベーション戦略論 戦略論、マーケティング論 現代企業論</p> <p>心理 イノベーション心理学</p> <p>社会 社会システム論、現代国際社会学</p> <p>ゼミナール 基礎ゼミナール (戦略) 基礎ゼミナール (政策)</p>	<p>■ 外国語科目 必修英語 English II : Public Speaking English II : Presentation and Discussion English II : Academic Reading and Writing [a]・[b] English II : Business Reading and Writing [a]・[b]</p> <p>■ 学部共通科目 English for International Communication</p> <p>■ 総合教養科目 社会構造論 VI a・b 表象文化論入門 a・b</p>
		<p>政策 イノベーション政策論</p> <p>戦略 企業評価論 企業家史、新商品開発論 研究開発管理論、消費行動論 トップマネジメント論</p> <p>社会 異文化間コミュニケーション論 I・II</p> <p>ゼミナール ゼミナール I</p>	<p>■ 総合教養科目 言語コミュニケーション演習</p> <p>■ 学部共通科目 English for Academic Settings English for Practical Proficiency</p> <p>■ 一般共通科目 水泳 トレーニング</p>
3年		<p>政策 知的財産法</p> <p>戦略 ベンチャービジネス論</p> <p>心理 組織心理学、異文化間心理学</p> <p>ゼミナール ゼミナール II</p> <p>卒業研究 卒業研究</p>	<p>■ 学部共通科目 ビジネス英語 a・b</p> <p>卒業研究例 「企業成長における革新的イノベーションと漸新的イノベーションの役割」</p>
4年			

市場調査法で顧客ニーズを学ぶ
選択科目で基礎的な考え方を養うとともに、顧客ニーズの分析手法として「市場調査法」を履修。

2年次からコースを選択

関連分野の教養の幅を広げる

履修モデル

めざす将来

企業のシーズと市場のニーズ両面について詳しい知識を持ち、それらを踏まえてイノベティブな新製品の開発をリードし、新製品が社会に与える影響なども考慮できる人材。

さらに広がるキャリアプラン 企業の経営企画担当者、製品開発のプロジェクトリーダー、ベンチャービジネス経営者、事業コンサルタント、ベンチャーキャピタリストなど

履修モデル 心理コース 心理社会学科に所属するCさんの場合

イノベーションの普及過程を正しく理解した、情報戦略に詳しい**広告・広報担当者**を目指す。

〈個人とイノベーションの関係を体系的に学ぶ〉

心理コースでは、イノベーションの認知や個人における創造性の開発など、イノベーションと人間の心理や行動との関わりを取り扱う。個人のパーソナリティがイノベーションの生成や受容に与える影響、ブランドの与える波及効果・心理的効果、さらにはイノベーションを生み出す組織内での課題解決コミュニケーションや人間関係。イノベーションと個人に関わるこうした諸テーマを体系的・発展的に考察できる能力を育む。

	基礎科目	専門科目	
1年	必修科目 イノベーション概論 [a] イノベーション概論 [b] 情報リテラシー データ分析入門 選択 A 心理学 社会心理学 経済学 選択 C 家族と社会の変動	心理・社会の基礎を学ぶ 「イノベーション概論 [a][b]」などの必修科目に加え、「心理学」「社会心理学」の基礎を学ぶ。	外国語科目 必修英語 English I : Skills for Learning [a]・[b] English I : Social Interaction [a]・[b] English I : Academic Interaction [a]・[b] English I : Reading and Writing [a]・[b] 総合教養科目 自然科学 I a・I b 心身論 一般共通科目 コンピュータ・リテラシー A1、A2
	選択 B 市場調査法 心理実験法 マーケットへのアプローチ方法を習得 市場性の有無や広告効果の測定などのノウハウを身につけるため、「市場調査法」「心理実験法」を履修する。	2年次からコースを選択 心理 イノベーション心理学 認知心理学 I・II メディア心理学 パーソナリティ心理学 異文化間心理学 社会 イノベーション社会論 ゼミナール 基礎ゼミナール (心理) 基礎ゼミナール (社会)	外国語科目 必修英語 English II : Public Speaking English II : Presentation and Discussion English II : Academic Reading and Writing [a]・[b] English II : Business Reading and Writing [a]・[b] 総合教養科目 表象文化論入門 a・b 教養演習
2年	新製品の普及過程と広告など情報戦略を履修する。 イノベーションの普及プロセス、メディア環境の変化とユーザーへの影響、新しい製品の受容、製品購入にいたるまでの過程などに関連した科目を履修。さらに、「知的財産法」などの授業科目で 広告・広報の仕事に求められる知識を養う。	政策 イノベーション政策論 戦略 マーケティング論 新商品開発論 消費行動論 心理 ヒューマンインターフェイス論 意思決定論、組織心理学 社会 現代社会福祉論 異文化間コミュニケーション論 I・II ゼミナール ゼミナール I	総合教養科目 言語コミュニケーション演習 学部共通科目 中国語選択 (初級) I a・I b、(初級) II a・II b English for Practical Proficiency 一般共通科目 ゴルフ エアロビクス&コンディショニング
		心理 ワークプレイス論 政策 知的財産法 ゼミナール ゼミナール II 卒業研究 卒業研究	学部共通科目 中国語選択 (中級) a・b 卒業研究例 「新製品の普及と広告メディアに関する一考察」
3年			
4年			

めざす将来

新製品受容の心理過程、メディアの影響、消費者の意思決定などの知識に根ざした、**広告・広報活動を行う能力を持った人材**。

さらに広がるキャリアプラン

広告・広報関連業務担当者、企業における人事管理（人的資源管理）担当者、企業内教育および総務担当者など

履修モデル 社会コース 心理社会学科に所属するDさんの場合

アジアに興味があり、将来はシンクタンクでアジアにおける経済計画や開発についての仕事に就きたい。

〈社会・文化とイノベーションの関係を幅広い視野から探求する〉

社会コースでは、人間関係・福祉・環境・宗教・文化・グローバリゼーションなど様々な局面での社会的課題について、その背景への理解を深めながら、今必要とされている社会に関わるイノベーションとは何かについて考察する。こうした問題を実証的に学ぶことによって、より広い、よりグローバルな視野からイノベーションと社会の関係を探求する。

	基礎科目	専門科目	
1年	必修科目 イノベーション概論 [a] イノベーション概論 [b] 情報リテラシー データ分析入門 選択 A 社会学 社会心理学 国際関係学 選択 C 文明と社会		外国語科目 必修英語 English I : Skills for Learning [a]・[b] English I : Social Interaction [a]・[b] English I : Academic Interaction [a]・[b] English I : Reading and Writing [a]・[b] 総合教養科目 教養演習
2年	選択 B 社会調査法 イノベーションとグローバル社会を総合的に学ぶ グローバル化の問題と多様な社会の理解をめざし、多様な社会系科目を選択。また、実際にどのような経済計画や開発を行うかを学ぶための科目、さらに国際化や開発に伴う問題点やバランスのとれた社会の在り方を考えるための授業科目も履修する。	2年次からコースを選択 社会 イノベーション社会論 社会システム論 日本社会文化論Ⅰ・Ⅱ アジア社会文化論 現代国際社会学 政策 イノベーション政策論 ゼミナール 基礎ゼミナール(社会) 基礎ゼミナール(心理)	外国語科目 必修英語 English II : Public Speaking English II : Presentation and Discussion English II : Academic Reading and Writing [a]・[b] English II : Business Reading and Writing [a]・[b] 学部共通科目 English for International Communication 中国語選択(初級)Ⅰa・Ⅰb、(初級)Ⅱa・Ⅱb 一般共通科目 コンピュータ・リテラシーA1・A2
3年		政策 イノベーション経済論、開発政策論 戦略 イノベーション戦略論 心理 認知心理学Ⅰ・Ⅱ メディア心理学 社会 異文化間コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ 環境社会論Ⅰ・Ⅱ、宗教社会論Ⅰ・Ⅱ ゼミナール ゼミナールⅠ	総合教養科目 言語コミュニケーション演習 学部共通科目 English for Academic Settings 中国語選択(中級) a・b 総合教養科目 社会構造論Ⅳ a・b 一般共通科目 サッカー&フットサル テニス
4年		戦略 組織論 社会 現代社会福祉論 NGO・NPO論 ゼミナール ゼミナールⅡ 卒業研究 卒業研究	卒業研究例 「アジアの社会と開発に関する一試論」

教養科目で幅広い知識を吸収

生きた英語能力を培う
 海外での活動を考え、外国語科目に加えて「English for International Communication」「English for Academic Settings」を履修する。

履修モデル

めざす将来

人間に対する基本的な知識をもち、グローバル化の問題と多様な社会のあり方を理解し、経済計画や開発についての実務能力を持った人材。

さらに広がるキャリアプラン
 国連等国際機関での活動従事者、ジャーナリスト、NGO・NPO職員など